

今号の記事

主張 「強さを助け弱さをくじく『骨太の方針』」 2面

新役員からのメッセージ 3面

研究 診内研より「『非神経系』医療者のための『最新てんかん診療これだけは』」 4面

アーカイブ配信中！
ゼロの会オンラインイベント
みんなで語ろう
窓口負担ゼロ
—お金の心配なく医療にかかる社会に—
プレゼント企画の締め切り延長！8月末まで!!
基調講演 「人権保障から考える『医療費窓口負担ゼロ』」 伊藤 真弁護士
アーカイブ視聴、
プレゼント企画
応募はこちら
QRコード
または 窓口負担 ゼロの会 で検索！

地域の実情に即した

地域医療構想と診療報酬改定を

但馬医療の実態ふまえ県に要望



県（右側）に要望する綿谷地域医療部長（左2人目）・大澤理事（左端）

救急を一手に担う一方で、高齢の患者を長く入院させざるを得ず、「平均在院日数」が長くなる問題、診療所から、慢性期や回復期の病床が不足し、急性期後の患者を、在宅で直接受け入れざるを得ないケースが相次いでいることが報告された。結果、豊岡市の在宅看取り率は25・6%と全国の中規模都市で最も高い。また、政府の長年にわたる低医療費政策と急激な物価上昇で、医療機関の存続そのものが危ぶまれるという意見も出された。

要請では、綿谷部長が、こうした議論を紹介し、「地域医療構想」を現場の実情に即して改めることを求めた。これに対し、県側は、「国から地域医療構想の新たなガイドラインが今年度中に示される見込み。在宅医療に合わせたより小規模な圏域での構想や、医療従事者の確保等のためのより広域的な区域設定の必要性も指摘されており、これらを踏まえて、県として柔軟な新しい地域医療構想を策定していきたい」とした。また、「近畿厚生局の仲介で、京都府とは、情報共有、

情報交換を行っている」と現状の取り組みを紹介した。病院の深刻な経営危機を訴えた大澤理事に対しては、「医療機関の経営がより厳しくなっている状況は強く認識している。診療報酬で本来補うべき費用が補いきれていないので、診療報酬を物価に応じて適切にスライドさせる仕組みや、臨時の改定などの柔軟な対応が必要と思っている。機動的な補助制度の導入も求められる。そのため、全国知事会などを通じて国に対し、昨年度から特に今年度にかけて要望活動を繰り返している」と回答した。

最後に綿谷部長が「地域の住民を守りたいという思いは同じと思う。県民のために一緒に頑張っていたらと思う」と締めくくった。

協会では、引き続き医療機関の窮状と地域の声を、県などに伝えていく。

協会からは綿谷茂樹地域医療部長（理事）、大澤芳清理事が参加。県からは、保健医療部医務課の高見和典副課長、同課企画調整班の築本健史班長、同部総務課の村田拓也企画班長が対応した。今回の要請は、3月23日に協会が豊岡市内で行った「地域医療を考える懇談会」を受けたもの。同懇談会では、公立豊岡病院から、地域の高度

協会からは綿谷茂樹地域医療部長（理事）、大澤芳清理事が参加。県からは、保健医療部医務課の高見和典副課長、同課企画調整班の築本健史班長、同部総務課の村田拓也企画班長が対応した。今回の要請は、3月23日に協会が豊岡市内で行った「地域医療を考える懇談会」を受けたもの。同懇談会では、公立豊岡病院から、地域の高度

協会からは綿谷茂樹地域医療部長（理事）、大澤芳清理事が参加。県からは、保健医療部医務課の高見和典副課長、同課企画調整班の築本健史班長、同部総務課の村田拓也企画班長が対応した。今回の要請は、3月23日に協会が豊岡市内で行った「地域医療を考える懇談会」を受けたもの。同懇談会では、公立豊岡病院から、地域の高度

協会からは綿谷茂樹地域医療部長（理事）、大澤芳清理事が参加。県からは、保健医療部医務課の高見和典副課長、同課企画調整班の築本健史班長、同部総務課の村田拓也企画班長が対応した。今回の要請は、3月23日に協会が豊岡市内で行った「地域医療を考える懇談会」を受けたもの。同懇談会では、公立豊岡病院から、地域の高度

協会からは綿谷茂樹地域医療部長（理事）、大澤芳清理事が参加。県からは、保健医療部医務課の高見和典副課長、同課企画調整班の築本健史班長、同部総務課の村田拓也企画班長が対応した。今回の要請は、3月23日に協会が豊岡市内で行った「地域医療を考える懇談会」を受けたもの。同懇談会では、公立豊岡病院から、地域の高度

県社会保障推進協議会・第54期総会

住民の声集め 社会保障充実へ連帯しよう

口分田副理事長が新会長に

協会が運営に協力している兵庫県社会保障推進協議会（県社保協）は、6月28日、神戸市内で第54期定期総会を開催。21団体35人が参加した。



中野加奈子

命を守る運動を進めようとあいさつした口分田新会長

総会議事では、堤匠事務局長が、新年度活動方針として、物価高騰や

生活保護基準引き下げに対する京都での集団不服審査請求や提訴、亀岡市での住民調査、桐生市での生活保護相談支援など、各地で広がる「声を集める」取り組みを紹介。支援者の伴走なしには声を上げることが難しい現実がある中、「集まった声」を通じて制度改善を迫る動きが重要な

声を集める営みが問われている」と、講演を締めくくった。

口分田先生は「大軍拡・社会保障削減の政権を変えるため、連帯を強め、情報発信を強めていこう」とあいさつした。

記念講演では、大谷大学社会学部の中野加奈子教授が、「社会保障の昨今の情勢と運動」と題して講演。生活保護基準引き下げに対する京都での集団不服審査請求や提訴、亀岡市での住民調査、桐生市での生活保護相談支援など、各地で広がる「声を集める」取り組みを紹介。支援者の伴走なしには声を上げることが難しい現実がある中、「集まった声」を通じて制度改善を迫る動きが重要な

また、労働現場や地域社会でも孤立が進んでいると指摘し、労働組合の組織率は23年時点でも16・3%にとどまり、自治会も衰退傾向で、長時間労働と余暇のなさが社会参加を妨げていると解説した。こうしたなか、制度の隙間に目を向け、小さな声を拾い上げ、運動として結び直す努力が不可欠だとのべ、「誰かが、どこで、何に困っているのかが見えない社会でこそ、声を集める営みが問われている」と、講演を締めくくった。

また、武村義人会長（協会副理事長）の勇退に伴い、新たに口分田真会長（協会副理事長）ら新執行部を選出した。

日本全国から広島へ、核兵器のない世界を訴えて歩く「国民平和大行進」。88回目を迎えた今年は7月7日～16日にかけて兵庫県内を行進した。武村義人副理事長、榎林義雄理事、松岡泰夫評議員、川西敏雄参与らが各地で参加した。

国民平和大行進

被爆80年

核兵器のない世界へ

暑い中、核廃絶をアピールする榎林理事（①右2人目）・松岡評議員（②）、武村副理事長（③左端）、喜田結薬科会員（④）、川西参与（⑤）

武村副理事長は県庁前で「核兵器のない世界は実現できる」と呼びかけ、明石市役所前での集会では榎林理事が「世界各地で起る争いに胸が痛む。平和を求める声を上げ続けよう」と訴えた。

阪神御影駅前では川西参与が「核兵器禁止条約に参加するよう、日本政府に求めよう」と発言。東神戸病院やろっこう医療生協の職員らも参加し、沿道の市民にアピールした。

武村副理事長は県庁前で「核兵器のない世界は実現できる」と呼びかけ、明石市役所前での集会では榎林理事が「世界各地で起る争いに胸が痛む。平和を求める声を上げ続けよう」と訴えた。

暑い中、核廃絶をアピールする榎林理事（①右2人目）・松岡評議員（②）、武村副理事長（③左端）、喜田結薬科会員（④）、川西参与（⑤）

武村副理事長は県庁前で「核兵器のない世界は実現できる」と呼びかけ、明石市役所前での集会では榎林理事が「世界各地で起る争いに胸が痛む。平和を求める声を上げ続けよう」と訴えた。

暑い中、核廃絶をアピールする榎林理事（①右2人目）・松岡評議員（②）、武村副理事長（③左端）、喜田結薬科会員（④）、川西参与（⑤）

武村副理事長は県庁前で「核兵器のない世界は実現できる」と呼びかけ、明石市役所前での集会では榎林理事が「世界各地で起る争いに胸が痛む。平和を求める声を上げ続けよう」と訴えた。

暑い中、核廃絶をアピールする榎林理事（①右2人目）・松岡評議員（②）、武村副理事長（③左端）、喜田結薬科会員（④）、川西参与（⑤）

武村副理事長は県庁前で「核兵器のない世界は実現できる」と呼びかけ、明石市役所前での集会では榎林理事が「世界各地で起る争いに胸が痛む。平和を求める声を上げ続けよう」と訴えた。

暑い中、核廃絶をアピールする榎林理事（①右2人目）・松岡評議員（②）、武村副理事長（③左端）、喜田結薬科会員（④）、川西参与（⑤）

武村副理事長は県庁前で「核兵器のない世界は実現できる」と呼びかけ、明石市役所前での集会では榎林理事が「世界各地で起る争いに胸が痛む。平和を求める声を上げ続けよう」と訴えた。

暑い中、核廃絶をアピールする榎林理事（①右2人目）・松岡評議員（②）、武村副理事長（③左端）、喜田結薬科会員（④）、川西参与（⑤）

武村副理事長は県庁前で「核兵器のない世界は実現できる」と呼びかけ、明石市役所前での集会では榎林理事が「世界各地で起る争いに胸が痛む。平和を求める声を上げ続けよう」と訴えた。

燭心

「力」による現状変更は認めない」この言葉を日本の政治家はよく使う。ここで言う「力」とは軍事力のことだ。ロシアによるウクライナ侵攻、中国による海洋進出などを念頭においての発言が多い。それでは今回のアメリカによるイラン核施設攻撃はどのようなだろう。多くの人間にとっては国際法違反の攻撃だと思いが、日本政府は明言を避けた。なんとも歯切れが悪い。同じように世界で唯一の被爆国である日本が、核兵器廃絶に向けての発言を避けている。これらの姿をみていると、独立国として自分の意思を発言できないのかと、情けない限りである▼一方で戦争は紛争解決の一つの手段であるとの解釈もある。外交により紛争が解決しない場合には、宣戦布告して力比べとしての戦争をする。古来ヒトは領土を守るため、資産を守るために、宗教やイデオロギーが一致しないために戦争をしてきた▼第二次世界大戦後のこの80年間は歴史上、唯一大きな戦争のない期間である。その中であって、わが国は「紛争解決の手段としての戦争を放棄する」と憲法に明言している唯一の国である。もともと自国の防衛をアメリカに依存している現状は危険と隣り合わせでもあることを忘れてはならない。アメリカや中国、ロシアなど平気で軍事力を使用する国々の中で、毅然とした姿勢を示していかなければならない。そのためには十分な情報収集の上に成り立った平和外交で、時として狡猾な対応も辞さない交渉術を磨く必要があると思う（際

主張

政府は6月13日に、予算編成の方針を示す「経済財政運営と改革の基本方針2025」、いわゆる骨太の方針を閣議決定した。

「骨太の方針」は、原案を財務大臣の諮問機関である財政制度等審議会が作成し、政府が閣議決定しているものだ。財務省が中心となっており、「財政規律」を理由に予算の削減ばかりが示されている。

しかし、医療・社会保障制度は国民の生命・健康に直結し、憲法25条等で政府が保障しなければならないと定められている。「財政健全化」を理由に機械的に削減していいものではない

が、医療・社会保障制度は国民の生命・健康に直結し、憲法25条等で政府が保障しなければならないと定められている。「財政健全化」を理由に機械的に削減していいものではない

強きを助け弱きをくじく

「骨太の方針」

大きな反発を受け見送られた高額療養費制度見直しは「長期療養患者などの意見を丁寧に聴いた上で、秋までに方針を決定する」としており、すでに専門家委員会で議論が始まっている。とりわけ「OTC類似薬

大きな反発を受け見送られた高額療養費制度見直しは「長期療養患者などの意見を丁寧に聴いた上で、秋までに方針を決定する」としており、すでに専門家委員会で議論が始まっている。とりわけ「OTC類似薬

参議院選挙では、自公維以外の各党も、OTC類似薬見直しを公約に盛り込んでいる。国民民主党は「公的医療保険の対象から見直

参議院選挙では、多くの新しい議員が誕生した。国民のための社会保障の充実を考える議員とともに、運動を強化する方針である。

にも関わらず、「骨太の方針」では、国民の命と健康を脅かす社会保障費抑制政策ばかりが並んでいる。まず、次期診療報酬改定については、「経営の安定や現場で働く幅広い職種の方々の賃上げに確実につな

一方、自民・公明・維新の3党が合意した「医療費4兆円削減」をベースとし、医療費削減計画が具体的に記載されている。その内容は前号にて詳細に紹介しているが、国民の

の保険給付の在り方の見直し」が盛り込まれていることには注意が必要だ。OTC類似薬の保険給付範囲の縮小が進められると、医師の診断なしに患者が自己判断で薬をのむケースが増え、別の疾病を見逃したり、重症化してしまう危険性がある。また、保険給付から外れることで、患者の自己負担は確実に重くなる。自己負担が数十倍になるケースもあり、経済的に余裕のない患者が必要な薬を手に入れられなくなる可能性もある。

「医療崩壊」を引き起こした小泉構造改革で削減された医療費は1兆円。「4兆円削減」が具体化されれば各地の地域医療は崩壊するだろう。協会は国民の命と健康を蔑ろにし、財界中心の政府の政策に警鐘を鳴らし続けた。

感想文

低栄養に苦しむ患者さんへ
新たな指針得た

歯科部会は7月6日、歯科訪問診療対策研究会「訪問診療の現場から見えるもの―内科から歯科への期待―」を協

経口摂取再開率を上げることができる。その際は、単に口腔清掃(口腔衛生管理)だけでなく、口腔リハビリ(口腔機能管理)を併せて行うことが重要である(口腔健康管理)」と紹介された。

会員計報

井上 和久先生
明石市 消内・外・整
4月20日 享年93歳

吉本 博先生
尼崎市 整形外科
7月6日 享年68歳

鍋嶋 康司先生
明石市 内・放射線科
7月9日 享年72歳

ご冥福をお祈り
申し上げます

7月に入り、うだるような暑い日曜日の午後、多くの聴講者が集まった。ビルの外で

その後、エビデンスを示しながら、「入院イベントは入院関連機能障害に陥り、認知機能低下や身体的機能低下を招く恐れがある。ただ、この身体的機能低下の大半は嚥下障害であり、退院早期に歯科関係者が介入すること

講演後半には、低栄養状態は生命予後を脅かすリスク要因であることから、適切な栄養評価の重要性を解説され、簡単な評価方法としてMNA Short Formをご紹介頂いた。

医療者として目の前で低栄養に苦しんでいる患者さんへの、新たな指針となった貴重な講演であった。



多職種連携で「食べる」を支える実践を語った佐々木淳先生

歯科定例研究会

咬合の理論と術式を学ぶ

感想文

歯科部会は、6月1日、協会会議室で定例研究会「予知性を持つ咬合再構成を実施するために知っておきたい理論と術式」を開催。東京科学大学(Science Tokyo)大

このたび、和田淳一郎先生のご講義を拝聴し、中心位や下顎位、咬合挙上といった基

私は口腔外科の大学院で顎関節について学んできましたが、咬合再構成において下顎位を基盤とするアプローチの重要性を、改めて明確に理解することができました。

追記：咬合挙上及び咬合再構成や咬合治療も学べる和田先生のご著書を参考にされる



和田淳一郎先生が臨床経験に基づいた補綴学を解説

従来、咬合に對してはある程度感覚的な捉え方をしていた部分もありましたが、本講義を通じて理論的真付けを持ち、術式を予知性高く展

【尼崎市・歯科 大野 良子】

文化部 落語企画

ハンディー
感じさせない熱演

感想文

ました。いつも素晴らしい名人芸に大笑いし、最高の時間を過ごさせていただいていま

枕の中で、そのハンディーをネタに、笑いに変えていました。「落語家で良かった。もし、わしがパイロットやったら、隣の空港に着陸してしま

私は文太師匠がハンディーを持ちながらも、生き生きとお仕事を続けられていることに心から感銘を受けました。文太師匠は、高座に上がる時だけ、手探りで上がら

最後は八五郎が御門守に、母にお世継ぎを見せてあげてほしいというたのみをします。御門守は側室の鶴に説得され、たのみを聞き入れま



盲導犬ユウゴと文太師匠

とで、その兄であ

【長田区・歯科 志水雄一郎】

紹介する。

診内研

より557

「非神経系」医療者のための

「最新てんかん診療これだけは」

一般財団法人広南会広南病院病院長 中里 信和先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

はじめに

赤ちゃんからお年寄りまで、脳をおもちゃなら誰でもいつでも「てんかん」を発症する可能性があります。どの年代でも「100人に一人」の病気に言われています。

医師も例外ではありません。患者が医師の場合、自己判断で治療が遅れるケースもあります。偏見から病名を隠すだけでなく、専門医を受診しない医師もいます。医師でも誤解しているのですから、一般の方が誤解や偏見をもつのは無理ありません。「てんかんかも?」と思い悩んだり、あるいは「てんかんです」と言われてショックを受けます。

しかし正しい知識をもてば、てんかんの有無で人生は変わりません。

てんかん発作とは

突然倒れて白目をむき、全身を硬直させてガタガタふるえる。これが全身けいれんです。しかし、てんかん以外でも全身けいれんはおきます。血圧が一瞬低下する「失神」、心理的ストレスからの「心因性発作」、飲酒や薬物の禁断症状などでも体はふるえます。無効な抗てんかん発作薬をのみ続ける人もいます(図1)。

一方、てんかんでは全身けいれん「以外」の小さい発作もあります。本人が気づかなくとも、「ボーッと」して一点を見つめる、呼びかけても返事がない、動作が止まっている、無意識な行動を数分間続ける」などです。

もっと小さい発作では、「上腹部がムカムカと込み上げる、恐怖や不安におそわれる、おかしい音や人の声が聞こえる」などで、てんかん診療に慣れた医師でないと発作を見抜けません。

抗てんかん発作薬の進歩

最近、新しい抗てんかん発作薬が次々と登場しました。従来薬に比べて副作用が少ないのが特徴です。

てんかんでも、発作が2年消失しているなどの条件を満たせば、車の運転も可能です。薬をのみながらでも、妊娠や出産、授乳も禁止されなくなりました。

もし「てんかん診断で働けない」という悩みを抱えている患者がいれば、ぜひ一度、専門医に相談してください(図2)。

てんかんの入院精査

薬で発作を抑えられないてんかん患者は約3割です。あれこれ薬を試すより、思い切って入院した上で精密検査を受けるのが解決につながります。私が開設した東北大学病院てんかん科では2週間が入院の基本です(図3)。最初の3泊4日は脳波とビデオで長時間の「モニタリング検査」を行います。この間、発作がおきてもおきなくても診断精度が一気に高まります。てんかんが否定される方もいます。てんかんのタイプによって治療薬も変わります。手術を受けたほうが発作を止めやすいと判断される場合もあります。

入院は発作を診断するだけでありません。公認心理師やソーシャルワーカーが、お一人おひとり時間をかけて、さまざまな相談に乗ります。心の問題や経済的問題など、患者が抱える悩みは発作以外にもたくさんあるからです。退院後、多くの患者さんに「もっと早く入院していれば良かった」と言ってもらえることが専門医の喜びです。

おわりに

患者や家族は、てんかんのすべて

を勉強する必要はありません。てんかんのタイプは千差万別ですから、自分や家族のてんかんについて、誰よりも詳しくなることが大切です。そのためには医師の説明をよく聞くことが大切ですが、患者や家族向けの書籍で正しい知識を身に付けることも大切です。

自分のてんかに誰よりも詳しく。そうすれば、てんかんを克服して自分らしい人生を歩むための逆転の発想が生まれるのです。

おわりに参考文献をつけました。拙著1と2は医療者向けに執筆しましたが、患者や家族が読んでも理解できる内容がほとんどです。拙著3～5は患者や家族向けに執筆しましたが、医師や医療者にも気づきが多いと存じます。

【参考文献】

- 1) 中里信和：改訂2版 ねころんで読めるてんかん診療。メディカ出版、大阪、2024
- 2) 中里信和：もっとねころんで読めるてんかん診療。メディカ出版、大阪、2020
- 3) 中里信和：変わる！あなたのてんかん治療。NHK出版、東京、2018
- 4) 中里信和(監)：「てんかん」のことがよくわかる本。講談社、東京、2015
- 5) 中里信和、藤川真由：てんかんと就労～患者さんとご家族の方へ(https://www.towayakuhin.co.jp/oyakudachi/miniclinic/tenkan_syuurou/) (5月31日、第621回診療内容向上研究会より)

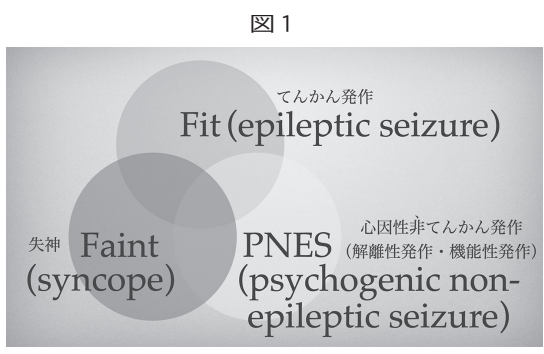


図1

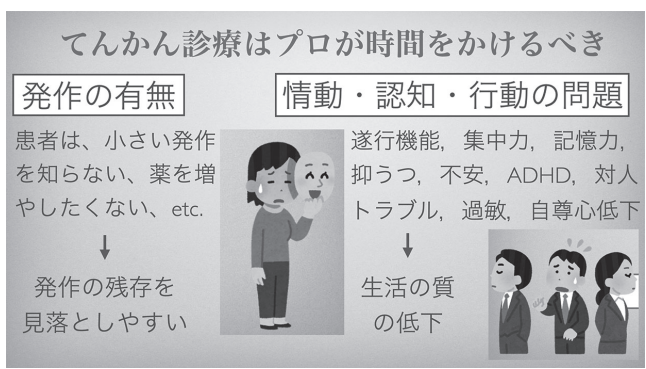


図2

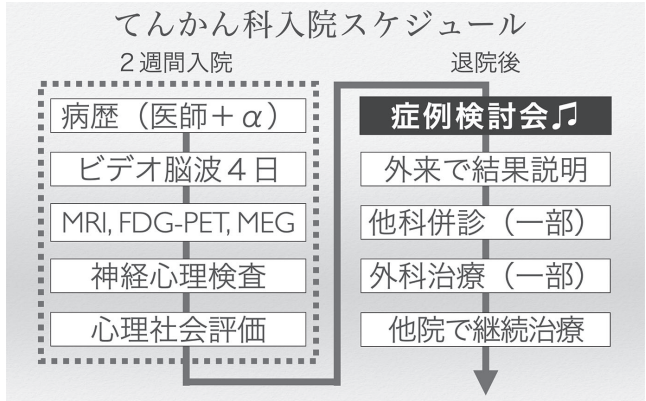


図3

ドクターに最適を提供します

保険医協会の共済制度

✓中長期の資産形成に 次回受付は9月1日開始

保険医年金と積立年金DefLデフェル

✓死亡・高度障害に

グループ保険と新グループ保険

✓病気やケガによる休業も安心

休業保障制度と所得補償保険

✓協会の新しい共済

介護保険Sasa*L(ササエル)

✓医事紛争に備えて 医師賠償責任保険

✓サイバー攻撃への備えに サイバープロテクター保険

✓団体割引の

自動車保険と火災保険

医療保険とガン保険

●労務トラブルに備える保険もお問合せください

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

協会の共済はご加入内容をまとめて管理。ワンストップサービスを提供します。



http://www.hhk.jp

〈会員限定〉参加できなかった研究会をDVDで

診療内容向上研究会ほか講演録DVD

協会研究部主催の診療内容向上研究会(診内研)・特別研究会・臨床医学講座・薬科部研究会などの講演DVD(下記)を作成しています。頒布価格はいずれも1枚1000円(送料込)です。会員の先生方個人の視聴用のみにご利用ください。

ご注文は、☎078-393-1840 研究部まで

※以前のDVDにつきましても研究部(☎078-393-1840)までお問い合わせください。

年	日程	種別	テーマ	講師
24年	10月19日	第614回診内研	内科医のための皮膚が出る感染症とその周辺	大阪大学医学部附属病院 感染制御部 感染症内科 山本舜悟先生
	11月16日	第615回診内研	プライマリケア医のための脳梗塞診療をゼロからマスターする2時間レクチャー	湘南鎌倉総合病院 脳神経内科 山本大介先生
	12月7日	第616回診内研	非耳鼻咽喉科医向けの耳鼻咽喉科領域の話～鼻出血・副鼻腔炎を中心に～	JCHO大阪病院 耳鼻咽喉科 前田陽平先生
25年	1月11日	薬科部研究会	新時代の呼吸器感染症治療～新しいガイドラインも踏まえて～	関西医科大学内科学第一講座 診療教授 宮下修行先生
	1月25日	第617回診内研	発達障害はCommon Disease? ～発達障害対応のキホンから外来診療のリアルまで～	安房地域医療センター 小児科部長 市河茂樹先生
	2月15日	第618回診内研	クリニック診療でも知っておくべき心不全と心房細動の話	小倉記念病院 循環器内科 高麗謙吾先生
	2月22日	薬科部研究会	栄養の基本と高齢者について	神戸市立医療センター中央市民病院 栄養管理部副部長 岩本昌子氏
	4月26日	第620回診内研	プライマリケアにおける呼吸器感染症の診かた	亀田総合病院 呼吸器内科 主任部長 中島啓先生



これからの研究会・行事のご案内

8月の診内研

第624回診療内容向上研究会

無料

知っておきたいマダニ刺症とトコジラミ刺症

日時 8月2日(土) 午後5時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室
講師 公立学校共済組合近畿中央病院 皮膚科 部長 夏秋 優先生
※講師来場でのご講演です。

来場定員 50人
※現地参加は必ず事前にお申し込みください。
お申し込み後のキャンセルも、ご連絡をお願いいたします。

日本には約50種類のマダニが知られ、野外で主に野生動物に寄生するが、ヒトにも吸着してマダニ刺症を生じる。マダニ刺症は北日本ではシニルツエマダニが多いが、関東以西ではタカサゴキラマダニが多い。マダニは地域や種類によってはボレリア感染症のライム病、リケッチア感染症の日本紅斑熱やウイルス感染症の重症熱性血小板減少症候群などを媒介する可能性があるため、マダニ種の同定や除去法、感染症のリスク評価など、適切な対応が求められる。

トコジラミは室内に生息する吸血性昆虫で、近年では各地の宿泊施設内で蔓延している。旅行先から一般家庭に持ち込まれる事例も多く、的確な診断と殺虫剤抵抗性トコジラミの駆除対策が重要である。【夏秋 記】

申し込み

Zoom視聴のお申し込み

右のURLまたは二次元コードからお申し込みください。<https://x.gd/lVuBO>
案内メールが送付されます。



来場参加

FAX 078-393-1820

医院経営研究会 第453回例会

パソコン記帳講座 「弥生会計」を実際に使ってみよう!

日時 8月23日(土) 午後2時30分～6時30分
会場 神戸市産業振興センター8階 ソフトウェア研修室
講師 協会税務講師団 田中雄司税理士
PCインストラクター 花房 孝英氏 **入会随時受付**
参加費 7,000円(医経研会員はPC使用料1,000円)
※医院経営研究会(月額2,000円)にご入会いただいた医療機関からご参加の場合は、パソコン使用料のみいただきます。
定員 15人(先着順)

お申し込み・
お問い合わせは

☎ 078-393-1807 **FAX 078-393-1820**

第5回歯科社保学習会

無料

歯科訪問診療・介護報酬

日時 8月24日(日) 午前10時30分～12時30分
会場 兵庫県保険医協会 5階会議室
参加対象 会員の歯科医師、会員医療機関の歯科衛生士、歯科助手
参加定員 80人



お申し込み

FAX 078-393-1802

今後の研究会・行事予定

診療内容向上研究会

「第625回」

テーマ おなかの身体診察ー漢法フィジカルー(仮)
日時 9月13日(土)午後5時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 医療法人社団恵生会竹山病院 中野 弘康先生

歯科の行事

定例研究会

テーマ 歯周組織再生療法を成功に導くために
日時 10月5日(日)午後2時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室
講師 尼崎市・石川歯科醫院 石川 亮先生

初級歯科助手講座

テーマ 「歯と口腔の基礎知識・診療の流れ」「保険診療のしくみ、受付業務」「歯科外来における院内感染対策」「患者接遇とコミュニケーション」
日時 12月7日(日)午前10時～午後4時
会場 兵庫県保険医協会5階会議室
定員 80人
参加費 6,000円(テキスト「デンタルスタッフのための歯科保険診療ハンドブック」,「修了証書」,弁当・お茶代含む)

その他 研究会・セミナー

薬科部 研究会

テーマ 心不全(仮)
日時 9月27日(土)午後4時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 神戸大学大学院医学研究科循環器内科学分野 准教授 田中 秀和先生
参加費 1,000円(会員無料)

医院経営研究会 「第454回」

テーマ 医療機関のリーダー育成
日時 9月27日(土)午後2時30分～
会場 兵庫県保険医協会6階会議室(オンライン併用)

講師 トータル人事・労務オフィス代表 特定社会保険 労務士 嶺山 洋子氏
参加費 3,000円(医経研会員は無料)

県下各地の行事

「西宮・芦屋支部」リスクマネジメント研究会

テーマ 1,415名の医師・歯科医師によるオンライン 資格確認義務化の違法性「確認訴訟」とは
日時 8月23日(土)午後4時～
会場 兵庫県保険医協会 5 階会議室
講師 オンライン資格確認義務不存在確認等請求訴訟 事務局長 いつき会ハートクリニック院長 東京 保険医協会理事 佐藤 一樹先生

「明石支部」医院継承セミナー(医科向け)

テーマ ①成功する! 医業継承の進め方・ポイント、
②診療所継承ー実際に診療所の譲渡を
実行した際の体験談
日時 8月30日(土)午後3時～
会場 アスピア明石北館8階学習室801
講師 ①総合メディカル㈱西日本継承支援部 市岡 寛也氏
②話題提供 増田 章吾先生
定員 25人

「但馬支部」職員接遇研修会

テーマ 接遇力UPとクレーム対応ー患者さんの心
をしっかりと掴むためにー
日時 8月30日(土)午後2時～
会場 日高地区コミュニティセンター 1 階会議室 2
講師 ㈱クリニックイノベーションサポート代表取締役、奈良県 香芝市・永野整形外科クリニックヘルプデスク 永野 光氏
参加費 1,000円(受講証を発行)

「淡路支部」第47回総会記念講演

テーマ 開業医の今後のあり方ー「かかりつけ医」機
能強化制度にもふれてー
日時 9月13日(土)午後3時45分～(総会議事:午後3時～)

会場 洲本市文化体育館 1 階
講師 ニッセイ基礎研究所保険研究部上席研究員 ヘル
スケアリサーチセンター・ジェロントロジー
推進室兼任 三原 岳氏

「神戸支部」研究会

テーマ 医院の魅力を伝えるネット・AI活用術ーホームペ
ージ活用、口コミ、AI対策、SNS、YouTube活用ー
日時 9月20日(土)午後3時～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 ㈱日本経営メディカスト事業部 河村 伸哉氏

「北摂・丹波支部」医療安全対策研修会

テーマ ワンランク上の患者対応ーケーススタディ
で学ばー
日時 9月20日(土)午後3時～
会場 三田市キッピーモール 6 階多目的ホール
講師 マネジメントコンサルタント 松田 幸子氏
費用 1,000円(受講証を発行)

「姫路・西播支部」第40回総会記念講演

テーマ 開業医のためのChatGPT入門ー明日から
使える実践テクニック
日時 9月27日(土)午後3時～
会場 じばさんびる602会議室(オンライン併用)
講師 近畿大学医学部皮膚科学教室主任教授 大塚 篤司先生

「淡路支部」専門医に聞く開業医で ここまで診てほしい(シリーズ第6回)

テーマ 糖尿病性腎症について初歩から学ぶ
日時 9月27日(土)午後2時30分～
会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)
講師 しおかぜ診療所 大阪市・早石病院内科 岡野 理江子先生
共催 淡路市医師会、洲本市医師会、南あわじ市医師会

兵庫県保険医協会

これからの研究会・行事のご案内

歯科定例研究会

これからの摂食嚥下
リハビリテーション\会員/
無料

日時 8月24日(日) 午後2時～5時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 医歯学専攻老化制御学講座
摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授 戸原 玄先生

摂食嚥下というと嚥下のテストや検査を行って、訓練という意味のリハビリをすればよいと思われるかもしれませんが。しかし実際には機能低下の原因は様々ですし、一口に病気があるといってもその病気が摂食嚥下機能に影響を及ぼす程度も一緒ではありません。今回はおそらくあまり歯科のほうでは習わないようなベシックなところと、それに加えて我々が近年行った臨床に取り入れやすい研究結果をご紹介しますと考えております。先生方の臨床場面で患者さんを見るとき視点が変わるようなことに貢献できましたら幸いです。

【戸原 記】

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

申し込み

<https://x.gd/Dgu1N>

来場参加

FAX

078-393-1802

歯科定例研究会

地域のつながりで進める
食支援のかたち

～在宅医療におけるICTを用いた多職種連携に触れながら～

\会員/
無料

日時 9月28日(日) 午後2時～5時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 香川県・まんのう町国民健康保険造田歯科診療所 木村 年秀先生

香川県琴南地区は人口1,799名、高齢化率53.3%で、県内一の高齢過疎地域である。赴任した当初、この地域の在宅医療を推進していくには、医療・介護資源が少ないうえに、サービス事業者間の情報交換の場がないことが課題であると感じた。最後まで安心して暮らせるまちづくりのためには、多職種間の連携体制づくりを始める必要があった。町に事情を説明し、担当課長や内科医と協議した結果、「在宅医療・介護の連絡会」を設置することになった。毎月1回、医療・介護の専門職、民生委員、行政、議会議員、警察署、救急隊員などが集まり、困難事例の検討を行っている。ようやく連携体制の構築ができたと思っていた矢先、COVID-19の拡大により在宅医療の現場は混乱し、情報共有が困難となった。しかし、信頼を基盤とする連携体制ができていたこともあり、ICTを活用することで、きめ細やかな情報交換が可能となった。本講演では、ICT活用事例も含め当地域で食支援の取り組みを中心に紹介する。

【木村 記】

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

申し込み

<https://x.gd/kXjcj>

来場参加

FAX

078-393-1802

兵庫県保険医協会

お問い合わせは ☎ 078-393-1801

<http://www.hhk.jp> 兵庫県保険医協会 🔍 検索

Zoom視聴可能な行事の申し込み方法(協会会員のみ)

申し込み方法が明記されていない場合、メールの件名を研究会名にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号—を記載の上、研究会前日までにhyogo-hok@doc-net.or.jpへ送信してください。案内メールを返信します。

文化部 京都四条南座に行ってみよう！観劇ツアー

南座錦秋公演

藤山直美 主演

上方喜劇まつり

日時 11月2日(日) 午後2時開演

演目 一姫二太郎三かぼちゃ
お祭り提灯

出演 藤山 直美 他

定員 40人

参加費 一等席 お1人13,000円

締切 9月24日(水)

◆協会会員特典◆

(参加費に含まれるもの)

①観劇料割引(一等席通常13,000円
を会員特別価格10,000円で)②「なだ万」の季節のお弁当
+お茶付き

お申し込み・お問い合わせは協会文化部・吉永まで

☎ 078-393-1809

E-mail

ysng@doc-net.or.jp

薬科部研究会

\会員/
無料不眠・せん妄の薬物療法
～リスクマネジメントの観点から～

日時 8月30日(土) 午後4時～6時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 大阪市立総合医療センター 精神神経科 医長 粥川 朋哉先生

参加費 1,000円

大阪市立総合医療センターは約1000床の総合病院であり、年間の手術件数は1万件を超える。当科は有床総合病院精神科であり、業務は多岐にわたるが、リエゾンコンサルテーション活動には特に力を入れている。リエゾンチームと認知症ケアサポートチームで全病棟からのコンサルトを受けているが、不眠やせん妄の依頼が半数以上を占めている。近年は、従来のベンゾ系睡眠薬以外にも、メラトニン系やオレキシン系といった新しい作用機序を持つ睡眠薬が登場し、不眠治療やせん妄治療に劇的な変化をもたらした。今回、当科でのリエゾン診療におけるデータを紹介し、リスクマネジメントの観点から、不眠・せん妄の薬物療法について考える。

【粥川 記】

Zoom視聴のお申し込み

URLまたは二次元コードからお申し込みください。

申し込み

<https://x.gd/W5o3E>

来場参加

FAX

078-393-1820

歯科会員懇談会

\会員/
無料歯科における『個別指導』の
現状と対策

日時 9月28日(日) 午前10時30分～

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

講師 六甲法律事務所 松田 昌明弁護士
協会歯科社保講師陣

お申し込み

FAX

078-393-1802